



真宗大谷派 存明寺通信

No.231

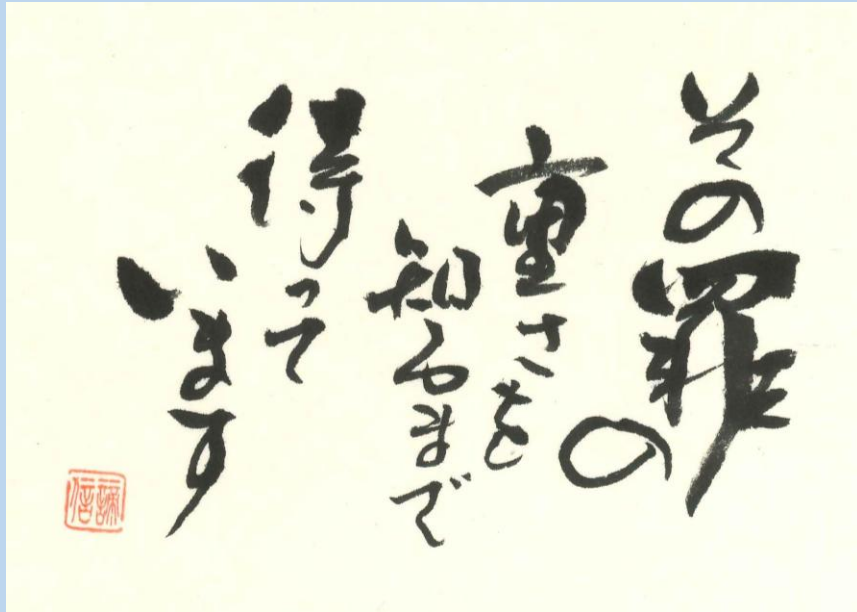
2026年(仏歴2557年)5月3日

いよいよ今年です！ 2026年(令和8年)11月2日(月)14時～・3日(火)12時～

ぞんみょうじきょうさんほうよう しゅうそしんらんしやうにんごたんじやう りっきやうかいしゆう からすやまいてん ごんしゆう
存明寺慶讃法要(宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年・烏山移転百年)を厳修

いちらく まこと
特別ゲスト:一楽 真氏(大谷大学)・ヒナタカコ氏(シンガーソングライター・僧侶)

『真宗児童聖典』
(東本願寺)より



<https://zonmyoji.jp>

住職・釋諦信



仏さまは、すべての者を救うと誓われました。しかし、經典には、このことと、あのことをした者は救わない、と説かれています。その個所を『真宗児童聖典』は次のように訳しました。
その罪の重さを知るまで待っています
罪を犯しながら、しかも無自覚なままに、この世を生きる者、人間。その人間が自らの犯す罪の重さを知るまで、あなたを待っています、ということです。
私たちは仏さまから待たれている存在なのです。

己(おのれ)を悲しむ心より・・・

人は争う

▼今、ひとつの言葉を噛みしめてみたいと思います。それは私のあこがれの人・お仲人さんの藤森教念さんの言葉です。

私は間違っているという時は

争いにならない

私は正しいという時に

人は争う

藤森教念(真宗大谷派僧侶)

初めてお聞きした時には「そんなものかな」ぐらいの感想でしたが、その後の歩みの中で、次第に身に沁みる言葉となりました。なぜでしょう。それは日常の中で争いを繰り返しているからです。そのたびに我が身に響く言葉となりました。「私は正しい」と思い込んではいないかと、問いかけられる言葉になったのでした。

▼藤森さんは、今はもうおられませんが。17年前にお亡くなりになられたからです。しかし、その人は亡くなくても、その人の言葉は

無くならないのです。今も生きていて、私に響き続けています。

▼このような言葉もあります。

人間は

自分は絶対に正しいと

思い込む時に

最も残酷な事をする

司馬遼太郎(作家)

今、世界で起こっている争いは、「自分は絶対に正しい」という思い込みが見え隠れしています。まるで力で相手をねじ伏せても構わないのだという、間違った「正しさ」を世の中にまき散らしているかのようです。残酷な現実です。

▼私は思います。争いをしている国のリーダーたちは、力があるか

ら争っているのではないのだ、と。武力や軍事力という暴力に頼らざるを得ないほど、相手と対話する力を持たず、相手と出会う力も持たない、心弱き存在なのだということ。

▼では、私たちはどうでしょうか。力で相手をねじ伏せるような心はないでしょうか。相手と対話する力や、出会う力があると言えるでしょうか。

己を悲しむ心より・・・

▼このような言葉もあります。

静かに己を悲しむ心より

真実の力は生まれる

武内了温(真宗大谷派僧侶)

これは真宗大谷派の解放運動の先駆者である武内了温先生の言葉です。阿弥陀さまの光に照らされて明らかになる己のすがた。その己のすがたを悲しむ心を感じ取っていくこと。それは今、世界が忘れてしまっていることではないでしょうか。今こそ、浄土真宗が大切にしてきた自らのすがたを直視すること、己を悲しむことを取

り戻していく時なのだと感じています。

▼「静かに己を悲しむ心より 真実の力は生まれる」その先に本当の平和へ向けての歩みが始まっていくことを確信しています。争い多き世に身を置きながら、真実の力に導かれながら生きることを実践していきたいものです。

住職・釋諦信



↑存明寺 街角の掲示板

今秋 いよいよ慶讃法要...
慶讃法要 **ここが目玉です!**

▼その① 音楽法要
存明寺独自の音楽法要

仏教讃歌と正信偈を組み合わせ
 た住職企画の法要です。演奏と歌
 をリードするのはヒナタカコさん。
 仏教讃歌は存明寺ご門徒の皆さん
 と唱和します。法要中に「夢のか
 なた」（ヒナさん・慶讃イメージ
 ソング）の独唱もあります。

▼その③ 慶讃コンサート
**ヒナタカコさんの
 すんだ歌声 再び**

2024年春にお招きし、大好評
 だったシンガーソングライターの
 ヒナタカコさんに再びお越しいた
 だきます。歌を通して親鸞さまの
 お心にふれる時間です。
 乞う、ご期待!!

▼その② 記念講演
**一楽真先生を
 お招きして**

存明寺住職が尊敬する一楽真先
 生の記念講演です。慶讃法要と
 は何か、私たちが大切にすべき
 ことは何か、浄土真宗の世界を
 語っていただきます。ぜひ一緒
 に聴聞いたしましょう。

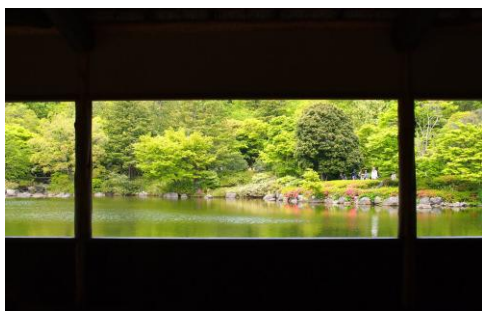
▼その④ 独自の企画
**それぞれの企画
 それぞれに輝く**

この慶讃法要ではご門徒衆と企
 画した様々な催しが行われます。
 「私の出遇った大切な一言企画」
 「親鸞聖人へのポエム企画」「親
 鸞聖人の朗読劇」「存明寺こども
 食堂出店」「記念誌出版」などが
 あります。どうぞお楽しみに。

■樹心(じゅしん)の会の予定
 「音楽法要」と「私の出会っ
 た大切な一言」をテーマに実
 施しています。

- 5月30日(土) 14時〜
- 6月13日(土) 14時〜
- 9月12日(土) 14時〜
- 10月10日(土) 14時〜
- 10月24日以降 準備週間
- 11月2・3日 慶讃法要

ご一緒に慶讃法要(音楽法
 要)をお勤めしましょう。



↑ 報恩講(保々真量氏)2025年11月



↑ 存明寺の夏まつり 2025年8月



↑ 東京教区慶讃法要に出店 2025年4月

お寺のひろば 2026 (令和8) 年

2026 (令和8) 年 お寺のひろば

- 5月30日 (土) 14時 樹心の会
音楽法要と私の出遇った大切な一言
- 6月13日 (土) 14時 樹心の会
- 6月20日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
大切な方を亡くした人へ
- 7月4日 (土) 11時 新盆法要
- 7月12日 (日) 11時と13時 おぼん法要
法要とお話があります。
- 9月12日 (土) 14時 樹心の会
- 9月18日 (金) 13時 おそうじの日
- 9月23日 (水) 11時と13時 秋のお彼岸法要
法要とお話があります。
- 9月26日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 10月10日 (土) 14時 樹心の会
- 10月23日 (金) 10時 おみがきのつどい
- 10月下旬の数日 (未定) 慶讃法要準備期間
庭木の剪定やおそうじ、諸準備を行います。
- 11月2日 (月) 14時 存明寺慶讃法要
- 11月3日 (火) 12時 存明寺慶讃法要
講師：一楽真氏(天谷大学)・ヒナタカコ氏(歌手)
- 11月14日 (土) 14時 樹心の会
存明寺慶讃法要を振り返って。
- 12月12日 (土) 14時 樹心の会
- 12月19日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
- 1月1日 (元日) 10時 修正会

※真宗聖典輪読会・こども食堂・こども会・子育てサロンも定期的に活動中です。



↑春のお彼岸法要 2026年3月

■存明寺慶讃法要

- 11月2日 (月)
 - 14時 音楽法要
 - 15時 記念講演
 - 16時 慶讃コンサート
- 11月3日 (火)
 - 12時 受付・お斎(精進料理)
 - 13時 音楽法要
 - 14時 記念講演
 - 15時 慶讃コンサート

音楽法要 ヒナタカコ氏&皆さま
記念講演 一楽真氏
慶讃コンサート ヒナタカコ氏

※両日ともに交流会(懇親会)開催。

東京都世田谷区北鳥山4-15-1
真宗大谷派 存明寺(ぞんみんみょうじ)
住職 酒井義一(しゅんぎいち) (釋諦信)
〒157-0061 TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880
E-mail : sakai@zomyoji.jp



【あとかぎ】

▼50年に一度の慶讃法要。この時を逃すと2078年の蓮如上人550回忌まで大きな法要はありません。住職は現在66歳。その時は89歳になっていきます。生存確率はかなり低いかと。だから私にとっては最後の大きな法要になると覚悟しています。

▼親鸞聖人の教えを曲がりなりにも学んできた私にとって、親鸞聖人に顔向けができるように、きちんと、心込めてお勤めをしたいのです。しかも、ぜひご門徒の皆さんと。これは本音で、本気です。

▼だから是非、今年の11月2日・3日は、両日ともにご参詣ください。両日ともに「交流会」(懇親会)があります。皆さまのご参集をお待ちしております。合掌 住職 蕪